

さん ぜん
バレエ史上に燦然と輝くトップ・スターたちが繰り広げる夢の饗宴

ミュージズ

バレエの美神

〈来日予定ソリスト〉

マイヤ・フリセツカヤ
マリ＝クロード・ピエトラガラ
タチアナ・チェルノプロフキナ
デルフィーヌ・ムッサン
ナタリア・レドフスカヤ
草刈 民代
オクサーナ・シェスタコワ
イリーナ・ベレン

ファルフ・ルジマトフ
ローラン・イレール
アンドリアン・ファジェーエフ
ウィルフリード・ロモリ
カール・バケット
ドミトリー・ザバフーリン
ジュリアン・ドゥルオ
ゲオルギー・スマレフスキー
ミハイル・シヴァコフ

レニングラード国立バレエ

指揮：アンドレイ・アニハーノフ

演奏：レニングラード国立歌劇場管弦楽団

(一部、テープを使用致します)

芸術の神の愛を受け、
バレエ界に君臨する美神たち。
類い希なる才能を与えられた
ダンサーたちの壮絶な生き様
神々しいまでの美しさ……
そのすべてが、
このステージで炸裂する！



ルジマトフ



チェルノプロフキナ



ファジェーエフ



ムッサン



プリセツカヤ



ピエトラガラ & ドゥルオ



レニングラード国立バレエ



イレール & ロモリ

世界の頂点に君臨する奇蹟のプリマ



マイヤ・プリセツカヤ

20世紀を飾る大スター。スターリン体制下のソビエト政府から圧力を受けながらも、芸術家としての誇りを持ち続け、世界中の観客を魅了した。過酷な運命と闘いながら、世界のトップに君臨する大スター。今年、80歳を迎えても尚、彼女を望む声は止まず、今も世界各国で活動を続ける。代表作の「黒死の白鳥」と共にプリセツカヤの名はバレエ史に燦然と輝く。

当代最高のダンスール・ノブール。パリ・オペラ座の貴公子。

ローラン・イレール

パリ・オペラ座バレエ、エトワール。端正な顔立ちとしなやかな身体のラインをもち、気品あふれるダイナミックな踊りやドラマティックな表現を得意とし、当代最高のダンスール・ノブールとして名高い。今年3月よりパリ・オペラ座バレエメイト・ド・バレエに就任しながら「ロミオとジュリエット」のティボルトに挑戦するなど、幅広い活躍を続けている。



あふれる叙情性。可憐なるモスクワの名花。



タチアナ・チェルノブロフキナ

モスクワ音楽劇場バレエ、スリンシバル。すらりとした長身の理想的なソロポジションながら可憐な雰囲気と合わせ、その姿は「白鳥の湖」オデット/オディールの代名詞と呼ばれるほど。長い手足を生かした柔軟な身体から溢れ出るような情感は、大きな感動をよび、観る者を引きつけてやまない。ロシア人民芸術家称号を受けた大スターながら、暖かみのある表現で多くのファンをもつ。

幅広い演技力。異例の個性派エトワール。

ウィルフリード・ロモリ

パリ・オペラ座バレエ、エトワール。今年2月、41歳で、パトリック・デュボン時代以来、およそ10年ぶりに観客の前でエトワールに任命され、大きな話題を呼んだ。クラシックからコンテンポラリーに至るまで幅広いレパートリーを誇り、振付家からの信頼も厚い。イレールと同期のベテランで、今のオペラ座に欠かせない存在。



類い希なる表現力のドラマティック・バレリーナ。



ナタリア・レドフスカヤ

モスクワ音楽劇場バレエ、スリンシバル。どんな難しいテクニックも難無く軽々とこなし、その踊りは重力を感じさせず軽やか。小柄ながらもエネルギーあふれるドラマティックな表現力を持つ。「ドン・キホーテ」のキトリでは情熱的に、「ジゼル」では優雅なジゼルを演じわけ、天性の女優。モスクワ派の良き伝統を受け継ぐバレリーナ。

長身を生かした堅実なノブール・ダンサー。

ドミトリー・ザバブーリン

モスクワ音楽劇場、スリンシバル。ラインの美しいノブール・ダンサー。「白鳥の湖」や「ディアナとアクティオン」など、ともに長身のチェルノブロフキナと踊ると迫力ある舞台が繰り広げられる。夫婦の強い愛の絆を歌い上げるこの「スパルタクス」のアドージョでは2人の愛情あふれるパートナーシップが期待できる。



究極のエレガンスが漂うロシア・バレエの至宝。



オクサーナ・シェスタコワ

レニングラード国立バレエ、ソリスト。スリンセさながらの気品に加え、卓越した演技力とテクニックを持つ。「ジゼル」のタイトルロールや「バヤデルカ」のガムザッティなど、多様な役柄に的確なアプローチをみせ、圧倒的な支持を得る。音楽性が豊かで、歌うように踊る。高度なテクニックもじつにさりげなくこなし、長い腕は柔らかな弧を描く。天使のような優しい笑顔も人気。ロシア・バレエ界の明日を担う逸材。

しなやかな肢体。気品あふれるモスクワのプリンス。

ゲオルギー・スミレフスキー

モスクワ音楽劇場、スリンシバル。バランスのとれたスタイル、身のこなしは気品に溢れている。スルガリアの首都ソフィア生まれ。グリゴロヴィッチ・バレエを経て同バレエ団に入団し、めきめきと頭角をあらわす。テクニックは正確で、知性に裏打ちされた表現は的確。元芸術監督スリャンツェフ振付の「サロメ」「椿姫」などの作品でも活躍する、期待の若手ダンサー。



抜群の身体能力に宿る、少年のようなピュアさ。



ミハイル・シヴァコフ

レニングラード国立バレエ、ソリスト。運動能力に長け、キレのいい豪快なジャンプを見せつつ、ドラマを描き出す演技力も兼ね備える。レニングラード国立バレエのほとんどのレパートリーで活躍するソリストだが、堂々とした演技にも少年のようなピュアな心が光っている。近年メキメキと実力をつけた若手ダンサーとして注目の存在。

世界のトップ・ダンサーが集

3年ぶりの夢の祭典にふさわしく、ガラ公演には

さらに、レニングラード国立バレエの美しいコ

レニングラード国立歌劇場管弦楽団による演

夢の

これぞ究極の



3年ぶりの夢の公演。いよいよその幕が上がると、そこには森の妖精たちやキュービッドの姿〜「ドン・キホーテ」の夢の場面だ。その絵画的な美しさに、ため息をつく間もなく、ベレンやシェスタコワらレニングラード国立バレエ団のプリマが妙技を披露する。幻想世界に誘うような音楽を優美に演奏するのはレニングラード国立歌劇場管弦楽団。もちろん若き巨匠アニハーフの指揮だ。ベレンらは、「眠りの森の美女」からの抜群も優雅に踊る。プリンスは、キーロフの貴公子ファージェーフだ。

ショパン音楽の「幻想舞踏会」を踊るのはレドフスカヤとスミレフスキー。軽やかでドラマティックなダンスは、彼らが所属するモスクワ音楽劇場バレエ団ならではのセンスを感じさせる。同バレエ団の美しきプリマ、チェルノブロフキナは公私同様のパートナー、ザバブーリンと「スパルタクス」のアドージョで息のあったところを見せてくれることだろう。

パリ・オペラ座のムッサン&バックケットの「シルヴィア」は、神話の世界を描いた貴重なダルソンヴァル振付版。ブレルジョーカージュ振付の「ある関係」(トレ・デュニオン)を踊るのはベテランのエトワール、イレール&ロモリ。本場パリでも、

そうそう見ることができない舞台が、目の前に繰り広げられてゆく。

孤高のダンサー、ルジマトフのソロは「レクイエム」。2004年に世界初演され絶賛された作品である。振付者である舞踏家、笠井淑のワークショップを3年前から受け、ルジマトフにとって全く新しいダンス・スタイルを学んだ上で挑戦した作品。観客はもちろん本人の強い希望から再演が実現する。

ビエトラガラ〜超個性派プリマは、パートナーとの自作「忘れないで…」で独自の存在感をアピール。美貌の女優バレリーナ、草刈民代は、シヴァコフと「ダジラード」を踊る。

伝説の大プリマ、プリセツカヤが舞台に立つことは、世界が注目する「事件」だ。今秋80歳を迎える彼女を讃え、モスクワでも盛大な記念行事が行われるが、自身が踊る予定は今のところない。彼女が舞う「アヴェ・マイヤ」は、まさに東京だけで実現する世紀のステージといえるだろう。

エキサイティングなダンスの数々。そのラストを飾るのは、「ドン・キホーテ」のグラン・パ・ド・ドゥ。スーパースター、ルジマトフの思いっきり粋で、しかも格調高い演技に酔いたい。

結した、最高に贅沢な舞台。

例の豪華な舞台セットで華やかにお贈りします。

ル・ド・バレエ、俊英指揮者アニハーフ率いる

舞が華を添え、まさに究極の舞台が展開します!

祭典

バレエ・ガラ!



【プログラム】

「ドン・キホーテ」第2幕2場より「夢の場面」

音楽：L.ミンクス
振付：M.プティバ
N.ポヤルチコフ演出

イリーナ・ベレン
オクサーナ・シェスタコワ
レニングラード国立バレエ

「幻想舞踏会」

音楽：F.ショパン
振付：D.ブリャンツェフ

ナタリア・レドフスカヤ
ゲオルギー・スミレフスキー

「ダジラード」

音楽：M.ラヴェル
振付：A.リグライナー

草刈民代
ミハイル・シヴァコフ

「シルヴィア」よりバド・ドゥ

音楽：L.ドリーブ
振付：L.ダルトンヴァル

テルフィーヌ・ムッサン
カール・バケット

「スパルタクス」よりアダージョ

音楽：A.ハチャトゥリアン
振付：Y.グリゴロヴィチ

タチアナ・チェルノブロフキナ
ドミトリー・ザバブリン

「ある関係」(トレ・デュニオン)

音楽：J.S.バッハ/M.カンヌ
振付：A.フレルジョカージュ

ローラン・イレーヌ
ウィルフリード・ロモリ

「レクイエム」

音楽：W.A.モーツァルト/C.ストーン
振付：笠井 敏

「眠りの森の美女」よりローズ・アダージョ

音楽：P.チャイコフスキー
振付：M.プティバ
N.ポヤルチコフ演出

未定

「眠りの森の美女」よりグラン・バド・ドゥ

音楽：P.チャイコフスキー
振付：M.プティバ

イリーナ・ベレン
アンドリアン・ファージェーフ

「アヴェ・マイヤ」

音楽：J.S.バッハ/C.グノー
振付：M.ベジャール

マイヤ・プリセツカヤ

「忘れないで…」(スヴィアン・トワ…)

音楽：Y.ティエルセン, A.アマー
振付：M.C.ピエトラガラ, J.ドゥルオ

マリクロード・ピエトラガラ
ジュリアン・ドゥルオ

「ドン・キホーテ」よりグラン・バド・ドゥ

音楽：L.ミンクス
振付：M.プティバ
N.ポヤルチコフ演出

ファルフルジマトフ
(パートナー未定)
レニングラード国立バレエ

※上記は9月15日現在の予定です。都合により上演演目、出演ダンサーなどが変更する
場合もございますが、返金などは致しませんので、予めご了承下さいませようお願い
申し上げます。

崇高なる精神。孤高のカリスマ・ダンサー



ファルフルジマトフ

キーロフ・バレエ、フリンシバル。現在、世界でもっとも注目されている舞踊手の一人。彫りの深いマスク、鍛えられた肉体は、ただ佇んでいるだけでも人の心を打つ芸術品。ある時は官能的に、ある時は哀しみに満ちた表情で、舞台上で奇跡のような素晴らしい演技をみせる。舞踏やフラメンコなど、ジャンルを超えた活躍で更なる進化を遂げている、希代のカリスマ・ダンサー。

強烈な個性を放つ、炎の不死鳥。

マリクロード・ピエトラガラ

パリ・オペラ座バレエ、元エトワール。昨年、マルセイユ・バレエの芸術監督を退き出産を経て自身のカンパニー「ピエトラガラ・カンパニー」を旗揚げし、ディレクター兼振付を務める。映画「ラ・ピエトラ 愛を踊る女」に主演。カンパニー設立などのプロデュース能力に長け、その才能を多方面で発揮。黒い髪とエキゾチックな容顔、両性具有的な官能美でバレエ界を超え、様々なジャンルに影響を与える。



ロマンティックなまなざし。キーロフの理想の王子様。

アンドリアン・ファージェーフ

キーロフ・バレエ、フリンシバル。生粋のワグナー育ちらしい純然たるクラシック・バレエの基礎の持ち主。古典作品で見せる、ロマンティックな雰囲気が高い人気を誇りつつ、現代作品でも個性を発揮する期待の若手。今回は待望の「眠りの森の美女」アジレ王子を披露する。アイドリングの甘いマスクとさわやかな身のこなしで理想的な現代の王子様と呼ばれている、人気急上昇中のダンサー。



優美なシルエット。オペラ座の美しきシンデレラ。

テルフィーヌ・ムッサン

パリ・オペラ座バレエ、エトワール。今年5月に右手を骨折、妊娠中という異例のコンディションでありながら、ヌレエフ版「シンデレラ」で見事、エトワール昇進を果たす。古典から現代作品まで、ほとんど全てのオペラ座のレパートリーを踊る。ほっそりとした優美なシルエットのため息の出るほど美しいラインを描く。今回の公演が出演復帰後、初の舞台となる。



甘いマスクと確かな技術にキラリと光る現代センス。

カール・バケット

パリ・オペラ座バレエ、フルミエ・ダンスール。ロマンティックな風貌に現代のセンスが光る、オペラ座の新星。近年、「シンデレラ」の王子や「ロミオとジュリエット」でロミオを演じるなど、エトワールに匹敵する活躍をしている。今回踊る「シルヴィア」はムッサンと共に北京中央バレエ団に客演し、大好評を博した作品。ロマンティックなバド・ドゥが期待できる。



プリマの風格。日本を代表する美貌の舞姫。

草刈 民代

牧阿佐美バレエ団フリンシバル。「白鳥の湖」などの古典作品から「若者と死」や「ピンク・フロイド・バレエ」などのローラン・ステイ作品まで、幅広いレパートリーを持つ。繊細ながら芯の強さを併せ持つダンサーとして、バレエ界のみならず、映画「Shall we ダンス?」やCM、雑誌などでも大活躍。ファッションやライフスタイルにも注目が集まる、日本を誇る美貌の舞姫。



ピエトラガラに見出されたマルチな才能。

ジュリアン・ドゥルオ

「ピエトラガラ・カンパニー」主役級ダンサー。甘いマスクに鍛え上げられた肉体。国立マルセイユ・バレエ団のソリストを経て、ピエトラガラの作品に多く出演すると同時に振付アシスタントも務める。今回上演する作品は「ピエトラガラ・カンパニー」を設立後、最初の上演作品となる。ピエトラガラの信頼厚い、期待のダンサー。



ダイヤモンドの瞬き。輝くゴージャスな美貌。

イリーナ・ベレン

レニングラード国立バレエ、ソリスト。同団が誇る、看板バレリーナ。華やかな美貌とワグナー派の確実なテクニックでステージを艶やかに彩るスター・ダンサー。近年はプリマの風格を身につけ、役柄に応じた爽やかな妖艶さを見せるなど、来日ごとに著しい成長を遂げる。ルジマトフやイレーヌ、ゼレンスキーら世界のスターと共演し、世界のスターへの仲間入りを果たす。今、最も注目のバレリーナ。



感性豊かな俊英指揮者

アンドレイ・アニハーフ

レニングラード国立歌劇場管弦楽団の首席指揮者。オーケストラ公演、劇場のオペラ、バレエで幅広いレパートリーを誇る。ロシア屈指の若き天才指揮者として注目を集め、国内外で活躍。流麗かつ情熱的な指揮ぶりでも人気を博す。ルジマトフを初めとしたダンサーに絶大な信頼を寄せられる、気鋭の俊英指揮者。



ミュージズ バレエの美神

豪華な大物出演者による、極めつけのプログラム。
最高に贅沢な舞台から、新たなる伝説が生まれる!

過去2回の上演で、数々の伝説の名場面を生んできた「バレエの美神」が3年ぶりに開催される。

今回も出演者の顔ぶれは、豪華。ルジマトフ、プリセツカヤ、ピエトラガラ、イレールら大物ばかり。彼らが踊る演目にも注目だ。

まずルジマトフによる「レクイエム」再演。日本の舞踏家、笠井淑がルジマトフに振り付け、2004年秋の「ルジマトフのすべて」で世界初演され大反響を巻き起こした、あの作品である。バレエや舞踏のスタイルを感じさせ

ながら、しかしジャンルを超越した芸術作品。彫像のような裸身の美しさと深い精神性、自虐的といえるほどの孤独感——そこには、我々を魅了し続けるルジマトフの姿とともに、いままで見たこともない彼の一面も表れていた。初演後、賞賛の嵐に、ただ微笑みを浮かべていた彼は、すでに再演を決意していたようにも思える。さらに研ぎ澄まされた彼の身体表現を、同時代に生きる我々は、しっかりと記憶にとどめたい。

久々にマリー・クロード・ピエトラガラが日本の舞台に立つのも大きな話題。ハリ・オペラ座の元エトワール。強烈な個性を持ち、クラシックのみならずコンテンポラリー作品で独自の境地を切り開いてきた。出産を経て、また自ら新たなカンパニーを立ち上げた彼女が沈黙を破り、再び日本の舞台に立つ。彼女とパートナーの自作自演作「忘れないで…」(スヴィアン・トワ…)は、子供の頃からの思い出をテーマにしたもので、「人生は、アルバムをめくるようにつづられる。時の流れは容赦なく、人を様々



2003年2月「バレエの美神」より

な局面にいざなう…」(ピエトラガラ)という人生観がベースとなっている。絶対的な存在感と、動きのキレのよさ、そして言葉にしがたいエレガンス。さらに進化した彼女との再会が待ち遠しい。

ハリ・オペラ座の貴公子ローラン・イレールと、41歳という異例の年齢でエトワールに昇進したロモリは、フランス・ダンス界の最先端に行くプレルジョカージュ振付の「ある関係」(トレ・デュニオン)を踊る。ソファを介して二人の男性が出会い、葛藤する様子がスリルあふれる踊りで描かれていく。充実期にあって、しかも新境地を見せる二人の「大人の男性の美学」が目玉の当たりどころ。

世紀の大プリマ、マイヤ・プリセツカヤが久々にステージに立つという嬉しいニュース。過酷な運命と戦いながら世界の頂点に君臨し、すでに伝説の舞踏家となったプリセツカヤは、今年80歳を迎えてもお「現役」である。まさしく美神の名にふさわしい彼女のため、グノー

の「アヴェ・マリア」に振り付けられた作品は、その名も「アヴェ・マイヤ」。荘厳な舞いを、じっくりと味わいたい。

2005年5月、エトワールに任命されたムッサンと、次期エトワール候補の座にいるバケットは、ダルソングワルの「シルヴィア」を踊る。この作品は、何人かの振付家が手がけているがダルソングワル振付は高い評価を得ながらも、本家ハリ・オペラ座でも長く上演していない。しかし、2004年秋、中国中央バレエ団が24年ぶりにこのバレエを上演。

その時、客演したのがデルフィーヌ・ムッサンとカール・バケットだった。貴重な作品を最高のキャストで見ると、これも「バレエの美神」公演ならではの光景。

もちろん、おなじみのクラシック・バレエの傑作も披露される。オープニングは、「ドン・キホーテ」夢の場面。ベレンヤシエスタコワ、そしてレニングラード国立バレエの美しいコール・ドが観客を夢の世界に誘うという心憎い演出だ。夢の続きはレドフスカヤ&スミレフスキーの「幻想舞踏会」。さらに、ロシアの名花チェルノブプロフキナの「スバルタクス」、ベレン、ファージェエフの「眠りの森の美女」(キーロフのアイドル、ファージェエフのチャームキングなデジレ王子は必見!)も用意されている。そして「ドン・キホーテ」のグラン・バド・ドゥがラストを盛り上げる。全幕バレエを数作品凝縮したような贅沢な内容。充実感あふれる公演だ。

板井多佳子(舞踊評論家)



レニングラード国立バレエ

「世界が絶賛するコール・ド・バレエ」の名の通り、美しいコール・ド(群舞)のアンサンブルには定評がある。「白鳥の湖」「眠りの森の美女」などの古典作品を得意とし、綿密な研究に基づいた美しく叙情的な作品として世界的に評価されている。さらに、毎年来日公演を行い次々と新作を発表するほか、5~7作品もの全幕バレエを持って日本全国で、のべ750回を超える上演をしている。国際コンクールで優勝している女性プリマたちの成長ぶりは目覚しく、ロシアを代表するバレエ団として高く評価されている。



レニングラード国立歌劇場管弦楽団

ショスタコーヴィチやプロコフィエフなどロシアを代表する巨匠の作品の初演を行った、由緒ある劇場のオーケストラ。クラシック界の現在を担う俊英の指揮者アンドレイ・アニハノフのもと、劇場のオペラやバレエ公演のほか、オーケストラ独自の海外公演などの活動も多くこなしている。「第九」「英雄」「ジュピター」「悲愴」「新世界より」などの交響曲のほか管弦楽名曲集などを演奏して観客の心を掴み、来日公演は数多い。

2006年

2月3日(金)18:30開演 Bunkamuraオーチャードホール
2月4日(土)14:00開演 Bunkamuraオーチャードホール
2月5日(日)15:00開演 NHKホール

主催:光藍社

協力:Bunkamura (2/3, 4のみ)

(ご注意とお願い)

・会場内におけるご飲食、ご喫煙はご遠慮下さい。また、写真撮影、録音、録音等は一切禁止とさせていただきます。
・開演後のご入場は制限させていただきます。ご了承ください。
・未就学児のご入場はお断りさせていただきます。
・都合により曲目の変更などがある場合もございます。予めご了承下さい。

(入場料金(税込))

S席 16,000円 C席 7,000円
A席 13,000円 D席 5,000円
B席 10,000円

※都合により上演演目、出演ダンサーなどが変更する場合がございます。また、運賃などは別途お断りさせていただきます。予めご了承下さい。

プレイガイド

光藍社 ☎03-3943-9999
チケットぴあ ☎0570-02-9988
CNプレイガイド ☎03-5802-9990
ローソンチケット ☎0570-000-403
イープラス eee.eplus.co.jp (パソコン&ケータイ)
Bunkamuraチケットセンター ☎03-3477-9999(2/2, 3のみ)
東京文化会館チケットサービス ☎03-5815-5452

本公演の申込み/光藍社KORANSHA ☎03-3943-9999 (AM/PM)

(インターネット申込み) <http://www.koransha.com/>

24時間いつでもチケット申込可。座席確認もOK。